

ようこそ！十せんぬまへ

気楽会の観光案内所プロジェクト
「こちら！気楽会 観光案内課」

活動報告書 2008年10月～12月



「気仙沼にもう一度行ってみたい」という観光客が一人でも増えるように



2009年2月作成

気仙沼をもっと楽しもう！
気仙沼をもっと楽しくしよう！

気楽会



目次

1. 観光案内課の開設にあたって	
趣旨	(3)
案内課ポスター	(4)
2. 活動内容	
若者ならではのおもてなし	(5)
レンタサイクルマップ	(6)
新気仙沼ホルモンマップ	(8)
雑記帳「ここがヘンだよ けせんぬま」	(9)
オープニングイベント	(1 1)
クロージングイベント	(1 1)
案内デスクのアレンジ	(1 2)
3. 活動を終えて	
総評	(1 3)
4. まだまだ続く観光案内課	
「こちら！気楽会 観光案内課2」	(1 4)

1. 観光案内課の開設にあたって

「気仙沼にもう一度行ってみたい」という観光客が1人でも増えるように

仙台宮城ディステーションキャンペーンで全国的に注目される2008年10月から12月までの3ヶ月間、気楽会では地元の若者ならではの視点で、気仙沼の魅力をアピールしていきたいと考えました。多くの観光客が期待できる毎週日曜日にJR南気仙沼駅構内に観光案内所「こちら！気楽会 観光案内課」を開設し、気仙沼の観光をサポートしようと動き出しました。観光案内所と銘打つには、気仙沼についての深い知識や経験も不足していますが、“気仙沼を楽しんでもらいたい”という若者の熱意で補えられると思いました。旅は、その土地の美味しいものを食べ、美しい景色を見ることばかりでなく、地元の人と触れ合うことも醍醐味の一つです。地元の若者だから知り得るお勧めスポットや、食べて欲しい一品など、楽しい会話とともに気仙沼観光のプラスアルファを紹介していければ、きっと観光客も喜んでもらえるはず、と。私たち自身も案内所の活動を通して気仙沼のことをより深く知ることになり、まちづくりサークルとしても、次のステップへ活かす絶好のチャンスと思いました。もしかしたら、この試みの成果は気仙沼全体で見れば小さいものかもしれませんが、しかしながら、地元の若者による自発的な試みは、これからの気仙沼にとって大きな一歩になると考えました。この活動で「気仙沼にもう一度行ってみたい」という観光客が1人でも増えるように -。





×

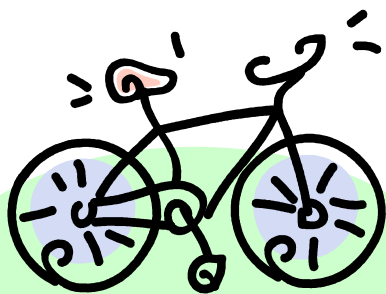


仙台宮城フェスティベーションキャンペーン期間中

気楽会が **観光案内所** やります!!

こちら! 気楽会

観光案内課



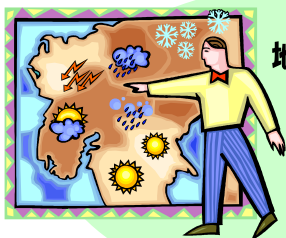
レンタサイクル

レンタサイクルのオススメコースマップを作成しました!
「レンタル海釣りセット」も合わせてオススメです!



観光ガイドマップ

気仙沼の観光ガイドマップも大集合です!
ここで気仙沼の情報をGET!



地域の人と観光客とのふれあい 観光案内

JR気仙沼南駅でDCの3ヶ月間、
毎週日曜10:00~15:00
観光案内所を開設します!

NEW!!

最新版気仙沼 ホルモンマップ



話題の気仙沼ホルモン!
10月5日(日)の観光案内課のOPENと
同時リリースの最新版のホルモンマップです。
全15店舗コンプリート!

「こちら! 気楽会 観光案内課」

期間: 10月~12月の毎週日曜日
10:00~15:00

会場: JR南気仙沼駅構内

気楽会



気仙沼をもっと楽しもう! 気仙沼をもっと楽しくしよう!
気楽会は気仙沼の昭和50年代生まれの若者が
中心となって活動するまちづくりサークルです。

公式HP <http://www.nakamati.com/koyama/>



2. 活動内容

「若者ならではのおもてなし」

気楽会の観光案内所「こちら！気楽会 観光案内課」は、2008年10月～12月の毎週日曜日の午前10時から午後3時まで JR 南気仙沼駅構内で行いました。気楽会メンバーがスタッフとしてローテーションを組み、常時2～5人体制で対応しました。スタッフの日当や飲食費、交通費は出ません。基本的に大勢を相手するのは「こがねふかひれ号」や快速列車が到着したときくらいで、その他の時間帯は案内課を利用する観光客は少なかったです。ただその分、尋ねられたときは一人ひとり丁寧に應對出来たので、このくらいの規模が丁度良かったと思います。それと、待合室内に設けられた観光案内課なので、帰りの列車待ちの観光客の方とも多く話をする機会がありました。気仙沼観光を終えたばかりの新鮮な感想をダイレクトに聞くことで、観光客の“生の声”を拾うことが出来ました。どうせやるのならば、形式にとらわれず、観光客の要望に応じてフレキシブルに対応することを心がけ、ときには自分たちがガイドをし、車で安波山へ行ったこともありました。



回を重ねる毎に思い描いた観光案内に近づいてきたかなと思った頃、嬉しいことに、自分たちがガイドしたある観光客の方から、後日、お礼のはがきや手紙を頂きました。



このような出会いも含め、3ヶ月間でいろいろな方と触れ合うことが出来ました。

「レンタサイクルマップ」

レンタサイクルを使った新しい気仙沼観光の提案です。既存のレンタサイクルを使って、潮風に吹かれながらのんびり内湾を探索してもらいたいとの発想です。内湾周辺の見所を掲載した「レンタサイクル～ぶらり内湾の旅～」マップを作りました。周辺商店にもご協力頂き、マップ持参の観光客の方には各店のサービス品を提供して頂く事が出来ました。マップはよこや酒店とエースポートのレンタサイクル貸し出し所に置かせてもらいました。



レンタサイクルマップの目玉として、「**レンタル海釣りセット**」を考案しました。実際にレンタサイクルで内湾を探索してみると、釣りをしている地元の人を多く見かけました。これをどうにか生かしたいと思い、レンタサイクルマップに組み込みました。観光客が気仙沼で気軽に海釣りを体験出来たらきっといい思い出になるはずです。市内の釣具店にご協力頂き、釣竿とリール、バケツを気楽会で購入し、釣具店に置いてもらいました。釣具店には初心者セットとして、安価でオモリと針、餌のみを販売してもらい、観光客が手ぶらで簡単に海釣りを体験出来る環境を作りました。釣った魚は持って帰るのが大変なので、それを持ち込んで無料で調理してもらえる商店も確保しました。色々な角度から気仙沼を楽しめる仕組みで、レンタサイクルの活用を促しました。ただし、反省点もあります。レンタサイクルの利用実績は、思ったほど良い結果が得られませんでした。晩秋～冬ということもあり、利用しにくかったと思われます。春～夏ではまた違った結果を期待できると思います。より多くの商店に呼びかけて、ブラッシュアップさせることにより、レンタサイクルを使った観光はまだまだ大きな可能性を秘めていると思います。

レンタサイクルマップにご協力いただいた商店（敬称略）

・アンカーコーヒープレミアム店、はやし屋釣具店、小野寺商店、さくらボウル



気楽会プロデュース
レンタサイクル モデルコース
所要時間: 約2時間(個人差あり)

ぶらり内湾の旅

気仙沼の街中を、ゆっくりと見て周りたいたいという方におすすめのレンタサイクル

- ◆貸出場所: <気仙沼駅前観光案内所><市営南町海岸駐車場管理事務所(エースポート隣)><南気仙沼駅前 よこや>
- ◆貸出時間: 午前9時から午後3時まで(午後5時までに返却してください)
- ◆返却方法: 返却は、貸出場所の3箇所に限り、相互に乗り捨てができます(乗り捨て料金無料)



おっ得情報!

- アンカーコーヒー焙煎工房
魚市場前2-5 TEL23-5939
1ドリンクお買い上げの方
ドーナツ1個サービス!
- さくらボウル
港町5-1 TEL22-3860
プレー料金割引!
- はやし屋釣具店
川口町1-197 TEL22-4445
釣り竿無料レンタル
釣りの解説(ポイントなど)!
- 小野寺商店
魚町2丁目3-22 TEL24-8343
釣った魚を無料で調理
お買い上げの方
鯛焼き1個サービス!

◆レンタサイクル貸出料金
1日につき、1台 500円
電動 1台1000円

「新・気仙沼ホルモンマップ」

観光客にも気仙沼ホルモンを効果的にPR出来ないかという発想で、案内課オープン1ヶ月前から新しいマップ作りをスタートさせました。反響の大きかった従来の気仙沼ホルモンマップに、新規オープン店4店舗を加えた「**気仙沼ホルモンマップ3～最新版ホルモン焼肉店15店コンプリート～**」を新たに1000部製作しました。ホルモン焼肉店には、掲載許可を頂いたほか、制作費は2008年のみなとまつりで出店した「気楽会のホルモン屋台」の売り上げから捻出しました。なお、気楽会のHPからもダウンロード配信しているのですが、観光客の中にはプリントアウトして、マップ持参で食べに来た人も多くいました。わざわざ東京から気仙沼ホルモンを食べるために来た人もいて、とてもうれしくなりました。12月の終了日まで配り、観光客に新しい気仙沼の名物を紹介しました。



「ここがへんだよ けせんぬま」

案内課は、日曜以外は無人になってしまいます。そこで、スタッフ不在のときも有効活用できないかと考え、雑記帳「ここがへんだよ けせんぬま」を作成しました。より多くの観光客に“生の声”を書いてもらいたいとの考えで、あえてユニークなタイトルにしました。思ったよりも多くの観光客に記入してもらいました。



駅に設置していたこともあり、列車の本数が少ないという意見が多かったです。気仙沼に関しては、“食”の面では満足したという内容が多かったです。その反面、公衆トイレが汚い、道路標識、案内標識が少ないなど、観光地としての整備が行き届いていないところの指摘も多かったです。次ページに一部抜粋して報告します。

雑記帳「ここがヘンだよけんぬま」より一部抜粋

- ・「列車の本数が少ないので何とかならないか 待ち時間が長い」(仙台市 男性)
- ・「列車の本数を増やして欲しい」
- ・「レンタル自転車が少ない」(東京都在住)
- ・「観光地よりも食に走った」(東京都在住)
- ・「道がガタガタだった 自転車で乗っているときに荷物が飛び跳ねた」(東京都在住)
- ・「『ふかひれは大きいのが無いから小さいので良い?』と店の人に言われたが十分大きかった 初めて食べたふかひれ最高」(東京都 女性)
- ・「いつ来ても心落ちつく素敵な街です また来させていただきます」(大阪府 女性)
- ・「観光案内の若い人達が良く説明してくれて楽しい時間でした。アンカーコーヒーを紹介してくれて美味しいコーヒーを頂きました。写真も撮っていただき、とても気が利く人たちでした。ありがとう。観光案内すばらしい企画ですね」(東京都女性と山形県女性)
- ・「気仙沼の人たちはやさしい人ばかり」(東京都在住)
- ・「ウォーキングマップがあるといい 有料でよい 何でも無料は無駄の元であり、実費程度でも有料とし ただし必要利便であるもの」
- ・「南気仙沼は二度目です 駅前に喫茶店が欲しい」(東京都在住)
- ・「電柱に町名表示が無いので道がわからない」
- ・「観光客がわかりやすい案内板が少ないので増やして欲しい」(金沢市 男性)
- ・「また遊びに来たい」
- ・「もっとトイレを綺麗にして欲しい 公衆トイレ、駅を含めて汚い」
- ・「電車の本数が少ない」
- ・「また今度ゆっくり来たいです」(千葉市)
- ・「気仙沼のトイレはきたない」
- ・「朝市が良かったです」(東京都在住)
- ・「気仙沼駅で降りたら市街地まで歩くのが大変だった。南気仙沼駅で降りるのが便利だということがわかったのもっとPRして欲しい」(東京都 女性)
- ・「池袋から来ました 社員旅行です」
- ・「ホルモンとスープを試食出来ずに残念 でも次回こそ 地域の為にこれからも力を合わせてがんばって」
- ・「ふかひれ三昧とても美味しかった 必ずまた来ます」
- ・「トイレがきたない ちゃんと掃除して」(22才 OL)

「オープニングイベント」10月5日(日)

10月最初の日曜日はオープニングイベントとして、JR南気仙沼駅の駐車場に特設テントを設営し、気仙沼ホルモンと鮮サンマの炭火焼を観光客に無料で振舞いました。気仙沼の秋の味覚の鮮サンマ炭火焼と新名物の気仙沼ホルモンを焼いた煙は、駅のホームまで届き、自然と観光客がテントへ足を運びました。テントの前で焼けるまで待つ時間、食べている時間に少しですが、観光客との会話や気仙沼ホルモンの紹介などの観光案内が出来ました。こういうイベントは単発ですが、比較的容易に観光客との懇談が出来るので、観光案内素人のメンバーにはいい体験になりました。



協力：七輪(商工会議所) テーブル、椅子(気仙沼観光コンベンション協会)

「クロージングイベント」12月28日(日)

3ヶ月間、色々な人にお世話になりました。その感謝の気持ちを観光客へそのまま返そうという考えで、案内課最終日はクロージングイベントをしました。JR南気仙沼駅の駐車場に特設テントを設営し、気仙沼産の特製メバルのだし汁の鍋と気仙沼ホルモンを焼いて振舞いました。雪の降る中での気仙沼ホルモンでしたが、列になって並ぶ観光客との対話、そして地元を必死にアピールするスタッフの笑顔から気楽会らしい観光案内が出来たと思います。



協力：七輪(商工会議所)、ホルモン提供(からくわ精肉店)、テーブル、椅子(気仙沼観光コンベンション協会)

「案内デスクのアレンジ」(期間中毎週新作展示)作:熊谷厚亮(気楽会)



3. 活動を終えての総評

3ヶ月間の活動で印象に残ったのは、観光客が気仙沼を訪れる際の“期待している顔”です。そして帰る際の“満足した顔”と“疲れた顔”です。気仙沼観光への評価がよく分かりました。満足した顔の人は笑顔で、こちらも嬉しくなり笑顔になりました。一方、そうでなかった人もいました。

「観光客は、地元の人が考える以上に徒歩で移動するケースが多い」

観光客の中には、行きは気仙沼駅で降り、帰りは南気仙沼駅から帰る人も多く見受けられました。しかし気仙沼駅から、魚市場や海の市、各ホテルへのアクセスは悪く「無駄に時間を費やして歩いてしまった」「南気仙沼駅から降りればよかった」という声が多かったです。南気仙沼駅から主要観光地への利便性を積極的にアナウンスする必要があると思います。同時に歩いて観光する人のための標識も不足していると感じました。

「観光客目線で作られたガイドマップが少ない」

観光ガイドマップは種類こそ豊富ですが、同じような内容のものが多く、実際に観光客がダイレクトに必要な情報(交通アクセスなど)が得にくいケースがありました。それは、観光客のニーズとマップで伝えたいことのバランスがうまく取れていないことに要因があると考えます。

「観光地として必要不可欠な“おもてなしの心”」

この3ヶ月間、気仙沼を訪れる観光客の方々には、“満足した顔”で帰ってもらうことを目標に取り組んできました。活動を通して感じたことは、職業を問わず、その土地の住民一人ひとりが、“おもてなしの心”で観光客と触れ合う気持ち・機会があれば、仮に有名な名所や特別に美味しい名物が無くても、観光地として十分成り立つのではないかということです。観光客にとって、その土地が「とても心地よい街」と感じれば、また訪れてみたくなると思うのです。相手に親切にする気持ちは心を豊かにし、住民同士の絆や新たな交流も生まれ、地域を活性化させると 생각합니다。

幸い、気仙沼は海、山の観光資源に恵まれ、毎年多くの観光客が訪れています。「ようこそ！ けせんぬまへ」と気軽に声を掛ける市民が一人でも増えていけば、観光地としても、もっと素晴らしい街になると確信しています。

4. まだまだ続く観光案内課

気楽会の観光案内所プロジェクトは、これで終わりではありません。5月スタートを目指し、観光案内所プロジェクト第2弾！「**こちら！気楽会 観光案内課2**」を計画しています。今回の経験を活かし、新しい目玉企画で気仙沼の観光を盛り上げていきたいです。

クーポン券 &
ウォーキングマップ
の作成



観光案内所の
有効活用



イベントなど

観光スポットごとの
モデルコース
の紹介



市民を巻き込んでの
観光案内



最後にご協力ご支援いただいた多くの関係者の皆様に感謝申し上げます。

3ヶ月間、本当にありがとうございました。今後この貴重な経験を活かし、まちづくりサークルとして、次の試みに活かしたいと思います。

気楽会は

昭和50年代生まれの若者を中心としたまちづくりサークルで

気 仙沼をもっと楽しもう！

気仙沼をもっと 楽 しくしよう！

地元の良さをPRする活動をしています

気楽会



E-mail: kesenuma_kirakukai@yahoo.co.jp
HP: www.nakamati.com/koyama/kirakukai/
Blog: kirakukai.blog.shinobi.jp

